

岐阜高専「ものづくり岐阜テクノフェア2013」に出展

岐阜高専は、11月1日（金）、2日（土）にセラミックパークMINO（多治見市）で開催された「ものづくり岐阜テクノフェア2013」において、東海・北陸地区8高専の研究シーズ及び産学官共同研究事例を紹介するブースの出展及び「ものづくり」や「科学」の魅力を体験できる工作教室を開催した。

「ものづくり岐阜テクノフェア」は、岐阜県内外の企業・大学・研究機関を一堂に集め、世界に誇る技術や製品・研究成果などを紹介する“ものづくり”の魅力あふれる一大イベントである。

同校の出展ブースには、多くの来場者が訪れ、東海・北陸地区8高専をより身近に感じてもらいよい機会となった。工作教室には小学校3～4年生の生徒20名が参加し、電子制御工学科2年生の補助を受けてロボット製作を行った。慣れないはんだ付け作業に苦労しながらも全員完成させることができ、ものづくりの楽しさを十分に感じていた。



工作教室の様子